

恐ろしい成人病

脳卒中・がん・心臓病など

防ぐ『決め手』は早期発見



健康づくりへの指針——住民検診

グラフIは、横芝町国民健康保険の加入者が、昨年五月の一个月間に医療機関にかかった件数を、病気の種類別に示したものです。

最も多いのは、高血圧症や心臓病など、循環器系の病気です。これらは、ほおっておくと脳卒

早期発見はどうして必要なの？

健康なときこそ検診を

全国で、毎日約二千人の人が亡くなっています。なんとその七割近くは、脳卒中・がん・心臓病などの成人病が原因なのです。成人病は、本人が全く気づかないうちに進行することが多いため、定期的に検診を受け、早期発見に努めることが何よりも大切です。

中や心不全・心筋コウソクなど、死に至る原因となります。（昭和57年の横芝町の全死亡121人のうち、44人までが脳卒中と心臓病によるものです）

しかし、循環器系の病気のほとんどは、正しい日常生活と適切な医療によって、重症となるのを十分に防ぐことができます。そのためには、健康診査によって、病気を早期発見することがとても大切なのです。

治療も簡単に済みます

グラフIIは、昨年五月の一个月間にかかった医療費を、病気に分類したものです。

グラフIとIIを見比べてください。がんや腫瘍で病院にかかった人は71人と、全体の2%にすぎませんが、それに対して一千

こんなに多い病気です。あなたが知らないという保障はありません。毎年一回は成人病検診を受けてください。

万円以上の医療費が必要だったことがわかります。これは、がんや腫瘍には手術や特殊な治療が必要なことを示しています。しかし、このことは同時に、もっと早く発見されれば、特殊な治療をしなくとも、簡単な治療で済んだということも示していると言えます。

どんな病気でも、早期発見をすれば、それだけ治療も簡単に済みます。がんのように、初期にはほとんど無症状の病気には、健康なうちから検診ということが特に必要なのです。

横芝町・国保の病類別状況（58年5月分）

